

のぞみ富山 小児がんシンポジウム・交流会

「子供が病気になった時」

～小児がんの今とこれから～

小児がんは、数十年前までは、治らない病気でした。しかし、ここ数年で医療の進歩により、7～8割が治るようになりました。しかし、2～3割の子ども達は、大変な治療にもかかわらず、お空へ旅立っています。そして、今も過酷な治療をしている子ども達がたくさんいます。今回のシンポジウムでは、医療者から見子ども達・家族。残念ながらお空に逝ってしまった子どもの親の立場から、お話をさせていただきます。自分たちは何ができるのか？考える時間を共有できたら…と。

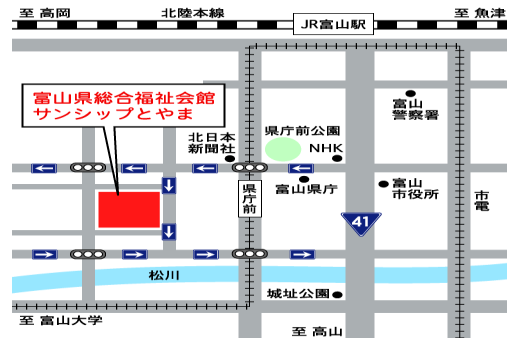
日時 平成25年6月22日(土) 13:30～16:00

場所 サンシップとやま 福祉ホール 入場無料・保育室あり(保育希望の方は事前に連絡要)

富山県富山市安住町5-21
TEL: 076-432-6141
FAX: 076-432-6146

(交通のご案内)

電車: 富山駅から徒歩15分
市電: 富山駅から大学行き「県庁前」下車徒歩2分
車の場合は駐車場あります。
尚、駐車場が満車になる場合がありますので
なるべく公共交通機関をご利用下さい。



内容 1部 活動報告 13:30～ (一般公開)
2部 講演・体験発表 13:50～

講演

「小児看護～小児病院の看護師長を経験して～」

さいがた病院 講師 看護副部長 林 真由美

体験発表

「小児がんで子どもを亡くした後で」

(公財) がんの子どもを守る会
福井支部代表幹事 坪田 起久恵

3部 交流会

15:00～

- ①小児がん家族の交流会
- ②子どもを亡くした家族の交流会(虹のかけはし)
- ③父親の会
- ④ボランティア活動

入場制限あり
父親限定

★ お父さん集まれ～! ★

父親の立場は微妙ですよ！一人で悩んでませんか？
父親だって感情を抑えず話したい！父親同士、
心の内を話しませんか。気軽に参加して下さい。

参加申し込み・問い合わせ

公益財団法人

がんの子どもを守る会

富山支部(のぞみ富山)

富山支部代表 笠井 功治・千晴・幹事一同

電話 080-1951-7363

メール sassan@pc.cit.ne.jp

”小児がんについて”

一般的に「15歳以下の子どもの白血病・脳腫瘍・骨肉腫・悪性リンパ腫など47種類のがん」のことを言います。日本では子どもの病死原因の第1位で、年間およそ2,500人くらいの子どもが新たに罹患しており、全国で16,000人近い子どもたちが いまも小児がんとたたかっています。

現在、医療の進歩により、小児がんは「不治の病」から、「治る病気」になりつつあります。とは言え、小児がんは子どもの病死順位の第1位を占めており、年間約550人の幼い命が失われていることも忘れてはなりません。治る子どもたちに対しても、小児がんの治療には長い入院生活は避けられず、家族の二重生活、治療中の学校の問題、進学や就職、結婚や出産など、様々な困難があります。

そのためには、周囲の様々なサポートが必要となってきます。

☆ゴールドリボン基金 ☆

小児がん経験者の支援事業、小児がんのトータルサポートに関する研究への助成、および小児がんの啓発活動に使われます。ゴールドリボン基金へ500円以上のご寄付をされた方に、ゴールドリボンピンバッジ等を贈呈しています。

(ゴールドリボンとは小児がんに関する支援をあらわす世界共通のシンボルマークです)



☆会員になる ☆

活動は、年会費と皆様からの寄付金により支えられています。

患者家族に限らず、(公財)がんの子どもを守る会の活動を支援してくださる方であればどなたでも会員になることができます。

会員の方には、がんの子どもを守る会が発行する機関誌「のぞみ」をお送りいたします。

小児がん患児家族への支援活動を長く続けていけるよう、継続的な支援をお願いいたします。

会費

普通会員 3,000円(1口)/年

賛助会員 10,000円(1口)/年 ※会費も寄付金控除の対象となります。

☆毎月の寄付 ☆

毎月ご指定の金額で自動的に寄付を継続していただくことができます。

毎回振込みをしていただく手間がかからず、継続しやすい方法です。

1口1,000円/月 もしくは任意の金額 ※1,000円以上

※寄付金額の変更、停止はいつでも自由にできます。

☆子どもたちへのクリスマスプレゼントの寄付 ☆

富山県内の病院に入院中の子どもたちに、クリスマスプレゼントを贈る企画です☆
未使用の文房具・折り紙・ノートなどぜひご寄付下さい(〇〇)



☆オリジナル自動販売機の設置協力☆

売り上げの一部が当会に寄付される支援自動販売機があります。

支援自動販売機の設置場所のご提供、もしくは、設置させていただける場所がありましたら、ご連絡ください。なお設置については新規または増設に限らせていただいております。



のぞみ富山つうしん

Vol. 11

当守る会富山支部も昨年10月で5周年を迎えました。早5年、あっという間の5年でした。この5年、小児がんの子どもたち、家族に本当に寄り添った活動ができたのだろうか？と、思うとまだまだ反省する点、問題点、課題も多くあります。ただ、ボランティアを始めとする皆さん、陰で応援して下さる方々のバックアップが大きな力添えになっていることは、言うまでもありません。昨年の活動の一部を紹介すると共に、引き続き皆さんのお力添えをお願いいたします。



☆ 2012.5.20 富山支部定期総会

「小児がんへの取り組み～オールジャパンで目指すがん医療～」と題して金沢医科大学医学部発生発達医学（小児科学）講師 犀川太先生が講演され、母親の立場から「闘病生活を通して～母親の立場から～」と題して、患児母親が体験発表をしました。富山福祉短期大学看護学科の学生さんが授業の一環で、その他、家族・医療従事者・福祉関係者等、いろいろな立場の方が沢山参加して下さいました。



☆ 2012.7.8 人形劇（富山大学付属病院ロビー）

富山大学五福キャンパスのサークル児童文化研究会の皆さんが「本当のたからもの」と題して、手作りの人形を使い、楽しい人形劇をして下さいました。



☆ 2012.9.2 北陸小児がん研修会（のぞみ 富山・石川・福井交流会）

小児がんの治療に関わる外科医師 河野美幸先生のご講演。患児母親の立場からの体験談をを発表していただきました。その後、経験者本人・経験者の家族・お子様を亡くした家族のグループに分かれて交流会を行いました。



募金活動

☆ 2012.9.22 富山福祉短期大学学園祭

学生さんの働きかけで当学校で初めての募金活動をしました。また、入院中の子どもたちへのクリスマスプレゼントも沢山寄付頂きました。



☆ 2012.10.27～28 富山大学杉谷キャンパス医学薬学祭

☆ 2012.11.4 富山市立新庄北小学校

☆ 2012.11.11 高岡私立古府小学校





☆ **2012.12.2** **がんの子どもを守る会シンポジウム**（パシフィコ横浜会議センター）
 「私達のおもいとカ～共に生きるみらいへ～」と題し、小児がんを経験した人たちが
 中心となり経験を声にし、社会へ届けました。（横浜宣言）



☆ **2012.12** **クリスマスプレゼント**
 富山県の小児科に入院中の子ども達に、絵本やおもちゃなどのクリスマス
 プレゼントを送りました。この活動にはアフラック富山支社AS会様のご支援を頂きました。



☆☆☆お知らせ☆☆☆

富山福祉短期大学に自動販売機設置 2012.9
 看護学科学生さんの働きかけで、5号館（看護学科棟）の
 1階ラウンジに、富山県で三台目となる
 当会支援自動販売機が設置されました！



”小児がんについて”

一般的に「15歳以下の子どもの白血病・脳腫瘍・骨肉腫・悪性リンパ腫など47種類のがん」のことを言います。
 日本では子どもの病死原因の第1位で、年間およそ2,500人くらいの子供が新たに罹患しており、
 全国で16,000人近い子どもたちが いまも小児がんとなたかっています。
 現在、医療の進歩により、小児がんは「不治の病」から、「治る病気」になりつつあります。とは言え、
 小児がんは子どもの病死順位の第1位を占めており、年間約550人の幼い命が失われていることも忘れてはなりません。
 治る子どもたちに対しても、小児がんの治療には長い入院生活は避けられず、家族の二重生活、治療中の学校の問題、
 進学や就職、結婚や出産など、様々な困難があります。
 そのためには、周囲の様々なサポートが必要となってきます。

ゴールドリボン基金

小児がん経験者の支援事業、小児がんのトータルサポートに関する研究への助成、および小児がんの啓発活動に使われます。
ゴールドリボン基金へ500円以上のご寄付をされた方に、ゴールドリボンピンバッジ等を贈呈しています。
 （ゴールドリボンとは小児がんに関する支援をあらゆる世界共通のシンボルマークです）



活動は、年会費と皆様からの寄付金により支えられています。
 患者家族に限らず、（公財）がんの子どもを守る会の活動を
 支援して下さる方であればどなたでも会員になることが
 できます。小児がん患児家族への支援活動を長く続けていけるよう、
 継続的な支援をお願いいたします。

公益財団法人

がんの子どもを守る会
 富山支部（のぞみ富山）



富山支部代表 笠井功治・千晴・幹事一同
 電話 080-1951-7363
 メール sassan@pc.ctt.ne.jp

今後、「のぞみ富山つうしん」の送付を希望されない方、
 住所変更になった方、'つうしん'をメールで希望される方はご連絡ください。